

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | 事故 |
| 2. 体験した事例の名称 | 火災現場で筒先を保持して建物 2 階へ進入する際、火炎に煽られ全身に熱傷を負った事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 防火 2/0 店舗併用住宅の火災に小隊長として最先着し、人命検索のために階段により 2 階へ進入した時、突然背後から吹きだした火炎に煽られ、全身に熱傷を負ったもの。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 最先着隊が屋内進入した際、火点室を特定できず、上階へ進入した時に火炎が 1 階天井裏を伝って階段室へ吹きだし、受傷隊員を煽った。 |

【体験した事例の直接的な原因について】



| | |
|------------------|--|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | |
|------------------|--|

【体験した事例について】



| | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 19 年 10 月 7 日 午後 10 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋内： |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷した。 |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 重傷 |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか） | 火傷・熱傷 |
| 7. 事例体験時の活動 | 火災、現場活動初期 [防火造建物] |
| 8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか | 人命検索、ホース延長、部署・筒先配備、進入 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|---|
| ○当事者A | 年齢[57]歳、勤続年数[38]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長] |
| ○当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|---------------------|----------|
| 経過1 | | 火災出場指令 | |
| 経過2 | 受傷隊員 | 現場到着 | |
| 経過3 | 受傷隊員 | 面体着装、内部進入 | |
| 経過4 | 受傷隊員 | 階段の存置物を除去しながら2階へ進む | |
| 経過5 | 受傷隊員 | 階段を上がったところで火炎に煽られる。 | |
| 経過6 | 受傷隊員 | 自力で1階へ降りる。 | |
| 経過7 | 受傷隊員 | 救助隊長の介添えにより屋外へ退避 | |
| 経過8 | 周囲の隊員 | 傷病者の個人装備離脱,防火衣の離脱 | |
| 経過9 | 受傷隊員 | 救急処置後、医療機関へ搬送 | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった。個人装備が不適切だった。後方からの監視が行き届いていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | はい |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | はい |
| ・暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

・防火衣耐熱性能の検証を実施し、結果を全職員に周知した。

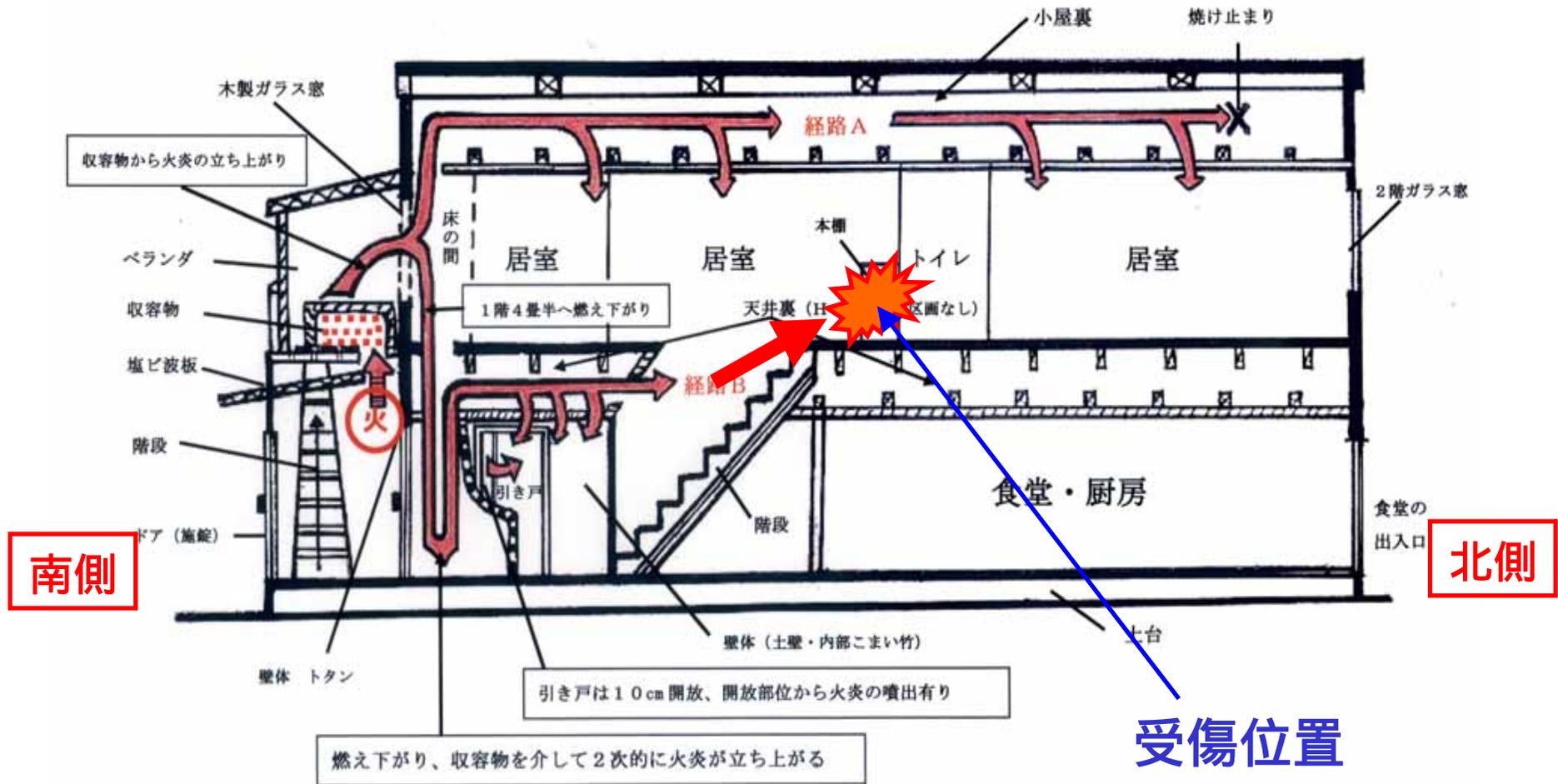
○活動環境の対策について

・屋内進入検索時の活動要領の見直しを実施した。

○指揮・情報伝達の対策について

・緊急事態発生時の「情報伝達フロー」、「退避判断・退避フロー」、「火炎曝露隊員に対する処理フロー」を作成し、全職員へ周知徹底した。

延焼経路図(火炎の流れ)



・発生日時：平成19年10月7日 午後10時頃

| 経過 | 現場の状況 | 隊員A 車長／消防士長 ・年齢 57 歳 ・勤続 38 年 ・現場 3 年 ・同様の活動：1年に数度 | 備考 |
|----|---|---|---|
| | 防火2/0店舗併用住宅の火災、小隊長として最先着した。 火炎が1階天井裏を伝って階段室へ吹きだした。 | <div style="text-align: center;"> <p>現場到着</p> <p>↓</p> <p>面体着装、内部進入</p> <p>↓</p> <p>階段の存置物を除去しながら2階へ進む</p> <p>↓</p> <p>階段を上がったところで火炎に煽られる。</p> <p>↓</p> <p>自力で1階へ降りる。</p> <p>↓</p> <p>救助隊長の介添えにより屋外へ退避</p> <p>↓</p> <p>病者の個人装備離脱, 防火衣の離脱</p> <p>↓</p> <p>救急処置後、医療機関へ搬送</p> </div> | 人命検索のために階段により2階へ進入した。 火点室を特定できなかった。 突然背後から吹きだした火炎に煽られた。 |

◎負傷事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

◎負傷事故が起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- (装備・資機材について)
- ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。
- (活動環境について)
- ・狭隘な場所であった。
- (指揮・管理について)
- ・隊員の連携が不十分だった。